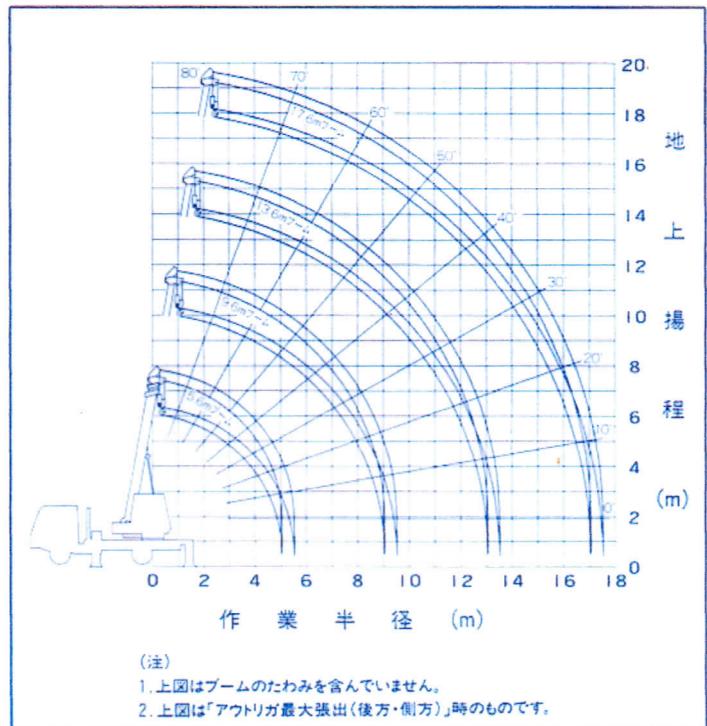


■定格総荷重表

単位 (t)

アウトリガ最大張出(後方・側方)					
ブーム長さ 作業半径	5.6 m	9.6 m	13.6 m	17.6 m	チルトヘッド (6.0°~18.0°)
2.0 m	4.90	3.20	3.00		
2.5 m	4.90	3.20	3.00		
3.0 m	4.00	3.20	3.00	1.70	1.40
3.5 m	3.20	3.20	3.00	1.70	1.40
4.0 m	2.65	2.70	2.70	1.70	1.40
4.5 m	2.15	2.30	2.30	1.70	1.40
5.0 m	1.80	1.95	1.95	1.60	1.40
5.5 m		1.65	1.70	1.50	1.40
6.0 m		1.45	1.45	1.45	1.40
7.0 m		1.10	1.15	1.15	1.10
8.0 m		0.90	0.90	0.92	0.90
9.0 m		0.70	0.75	0.76	0.70
10.0 m			0.60	0.62	0.60
11.0 m			0.50	0.52	0.50
12.0 m			0.40	0.43	0.40
13.0 m			0.35	0.36	0.35
14.0 m				0.30	0.30
15.0 m				0.25	0.25
16.0 m				0.20	0.20
17.0 m				0.15	0.15
17.4 m					0.13

■作業半径揚程図



単位 (t)

アウトリガ中間張出(全周) アウトリガ最大張出(前方)					
ブーム長さ 作業半径	5.6 m	9.6 m	13.6 m	17.6 m	チルトヘッド (6.0°~18.0°)
2.0 m	4.90	3.20	3.00		
2.5 m	4.20	3.20	3.00		
3.0 m	3.45	3.20	3.00	1.70	1.40
3.5 m	2.55	2.60	2.70	1.70	1.40
4.0 m	1.95	2.00	2.10	1.60	1.40
4.5 m	1.55	1.60	1.70	1.50	1.40
5.0 m	1.25	1.30	1.40	1.40	1.25
5.5 m		1.10	1.15	1.20	1.10
6.0 m		0.90	0.95	1.00	0.90
7.0 m		0.60	0.70	0.70	0.60
8.0 m		0.45	0.50	0.50	0.45
9.0 m		0.30	0.35	0.40	0.30
10.0 m			0.25	0.30	0.25
11.0 m			0.20	0.20	0.20
12.0 m			0.15	0.15	0.15
13.0 m				0.10	0.10

(注)

1. 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
2. 定格総荷重は、つり具重量とフック重量(主巻フック: 60kg、補巻フック: 20kg)を含んだ値を示します。
3. クレーン作業は、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
4. チルトヘッド状態では、必ず補巻フック(1本掛)を使用してください。
5. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は、下表のとおりです。なお、ロープ1本当たりの荷重は1.5t以下です。

ブーム長さ	5.6 m	9.6 m	13.6 m	17.6 m	チルトヘッド
巻掛本数	4	4	2	2	1

6. 自由降下は原則としてフックのみを降下するときを使用してください。やむをえず吊り荷を自由降下する場合には、定格総荷重の1/5以下(ただし、ロープ1本当たりの荷重は0.3t以下)とし、急激なブレーキ操作は避けてください。

ご使用になる方に必要な資格

クレーンの運転	玉掛作業	車両の運転
小型移動式クレーン 運転技能講習修了証	玉掛技能講習	普通自動車運転免許

- クレーンに関しては、労働安全衛生法が適用されます。
- 所轄の労働基準監督署に設置報告してからお使いください。
- 道路を通行する場合は、車両検査に合格した状態で通行してください。